

## グループ長期環境目標「TAISEI Green Target 2050」の CO<sub>2</sub> 削減目標が SBTi から Net-Zero Target の認定を取得

2025 年 8 月 4 日  
大成建設株式会社

大成建設株式会社（社長：相川善郎）が掲げる、グループ長期環境目標「TAISEI Green Target 2050」の 2030 年及び 2050 年 CO<sub>2</sub>削減目標が、国際的なイニシアティブである SBTi<sup>※1</sup>から、“NEAR-TERM SCIENCE-BASED TARGETS<sup>※2</sup>”及び“Net-Zero Target<sup>※3</sup>”の認定を取得しました。なお、今回の認定は、2019 年に認定を受けた目標の更新にあわせ、あらためて申請を行ったものです。

### ■ グループ長期環境目標「TAISEI Green Target 2050」の CO<sub>2</sub>削減目標

基準年：2022 年度	2030 年	2050 年
スコープ 1+2	▲42%	CO <sub>2</sub> 排出量 0
スコープ 3（カテゴリー1+11）	▲25%	サプライチェーン CO <sub>2</sub> 排出量 0

今後も当社グループは、グループ理念「人がいきいきとする環境を創造する」のもと、「持続可能な環境配慮型社会の実現」を目指し、事業を通じてカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。



#### ※1 SBTi (Science Based Targets initiative) :

企業の気候変動に関する GHG 削減目標がパリ協定の求める水準と整合しているかを検証、認定するイニシアティブ。CDP、国連グローバル・コンパクト (UNGC)、WE MEAN BUSINESS COALITION、世界資源研究所 (WRI)、国際自然保護団体 (WWF) の 5 団体が運営。

#### ※2 NEAR-TERM SCIENCE-BASED TARGETS :

企業が科学的根拠に基づいて、パリ協定の目標である“世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて 1.5℃に抑える”ことに貢献するために設定した、5～10 年後の温室効果ガス排出量削減目標。

※3 Net-Zero Target :

企業が科学的根拠に基づいて設定した、2050 年までに Scope1,2,3 の全ての温室効果ガス排出量を実質ゼロにする（ネットゼロ）目標。